



かしわの子

【目指す児童像】

- 進んで学ぶ子供
- 思いやりのある子供
- 心身ともに健康な子供

《第21号》

令和元年10月10日(木)発行
石巻市立飯野川小学校
TEL 0225(62)3009

児童の安全のために集団下校を継続実施

10月6日(日)の七十七銀行飯野川支店での事案に対応して、学校では登校の見守りや集団下校を実施しています。状況が変わらなければしばらく継続して実施する予定です。

児童の送迎や見守りなど、児童の安全確保のためのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。



みんなの財産を守る体験

9月5日(木)3・4年生は合同で、消防服を着ての放水体験を行いました。水が入っている本物の消防ホースはとても重く、子供たちは3人がかりで持ちましたが、それでも放水時は水圧に負けて飛ばされないように消防士さんに支えていただきながらの体験となりました。

子供たちは「消防服が重い」「こんな重いものを持って熱い思いを **プールでの放水体験**しながら作業しているなんてすごい！」と消防の方たちの日頃のお仕事に感心していました。

スケールアップの町探検

4月に学校探検をし、7月に学校近くの八幡神社に校外学習に出た1年生は、9月10日(火)エリアを広げて旧石巻市の萬画館へ行ってきました。

学習では移動手段として、自家用車で出かけていることが多い子供たちを考え、JRと徒歩を中心に移動方法を組み立てました。

始めの鹿又駅では駅員さんから列車のことをお聞きしたり、切符を持って一人一人自動改札口を通ったりと、日頃できない体験がスタート。

JRという一般交通機関の利用マナーを、他のお客様がいる中で体験しました。大きい列車の窓から見た景色には、いつも見る三陸道路やイオンが見えないまま、1年生は石巻駅に到着しました。

JR石巻駅からは徒歩で漫画ロードを移動し、たくさんのキャラクターの置物を確認しながら萬画館に到着しました。萬画館では映像シアターや缶バッジ作りなど満喫し、中瀬公園の遊具で汗を流してきました。



駅員さんへ質問する1年生



いよいよ12日(土)は令和初の学芸会。子供たちはいつにも増して、当日休まないようにと念入りにうがい手洗いをしています。また学年によっては、劇のせりふや配役を決めたり、小道具を作ったりと自分たちでプロデュースしています。その過程で、友達と協力する楽しさや充実感をたくさん感じて成長しています。

- ① 天候により校庭を駐車場として利用できない場合がありますのでご了承ください。
- ② 体育館内に雨漏り受けのたらいを設置することがありますのでご理解願います。
- ③ 体育館に新しく洋式トイレが、男女それぞれ1基ずつ設置されましたのでお知らせいたします。

子供たちの頑張り紹介

交通安全標語コンクール

最優秀賞	5年	茂木帆乃香さん	「気をつけて ドライブレコーダー 見ているよ」
優秀賞	4年	今野 瑠海さん	「大丈夫？ そんなに近くて 車間距離 」
佳作	4年	渡邊 響香さん	「ながらスマホ 人も車も 事故のもと」
	2年	金澤希来里さん	「思いやり 優しい気持ち 事故防ぐ 」

水道絵画コンクール

優秀賞 5年 木村 七歩さん



石巻地区読書感想文コンクール

優秀賞	2年	千葉 苺奏さん	『心ってどこにあるのでしょうか』を読んで
優良賞	6年	樋口 怜佑さん	『心の井戸』ってなんだろう
入選	4年	高橋 愛琉さん	「がんばったピッピ」
	3年	樋口 奏佑さん	『逆転 ドッジボール』を読んで
	1年	木村 陽和さん	『まじよの のろいのアメ』を読んで

石巻管内児童生徒理科研究・作品展

スーパーサイエンス賞 優秀賞	6年	佐藤光一郎さん	「投石機」
入賞	3年	樋口 奏佑さん	「アリのついて調べたこと」
	3年	小山 寛人さん	「ザリガニの好物なーんだ」
	4年	今野 悠希さん	「風力発電について」
	4年	佐藤 愛梨さん	「水のとけるはやさを調べてみよう！」
	5年	首藤 夏歩さん	「ゼリーを溶かすのは・・・？」
	5年	生出 脩真さん	「カラフル冷やし中華の原理」
	5年	金澤 優真さん	「豆苗の育ちをくらべよう」
	6年	樋口 怜佑さん	「ろ過の実験」
	6年	伊藤 樹音さん	「レモンで紅茶の色が変わるのはなぜ？」

*スーパーサイエンス賞を獲得した6年 佐藤光一郎さんは、11月9日（土）宮城県仙台第三高等学校で行われる「三高探究の日（GS フェスタ）」に作品を出展し、説明することとなっております。



インフルエンザ情報



現在、インフルエンザにかかっている児童・職員はおりません。
朝晩の冷え込みのためか、下痢を伴う風邪が流行りつつあります。
ご注意ください。

御 礼

ハロウィンの季節となり、今年も高橋祐奈さんのお宅からハロウィンかぼちゃが届けられ、3階廊下に展示しています。1年生も見に行っています。ありがとうございます。



ご案内

学芸会の劇や演奏・合唱は、人前で表現する楽しさを味わい、友達と協力して達成感を得るよい機会です。練習するたび子供たちのなかに自信や表現力、団結力が育っています。10月12日（土）の学芸会にぜひお越しくださいますようお願いいたします。

台風で延期する場合には、12日（土）午前6時30分にメールでお知らせいたします。



一言のことばのふしぎな力

2年 木村ゆめ

「ゆめちゃん、あぶないよ。」

たった一言だけど、この一言には人をかえる大きな力がありました。

この前、公園へ行き、ジャングルジムに登って遊んでいました。その時、まだ2さいの妹が、もう8さいになる私に注意したのがこの一言です。私は、(たしかにあぶないけれど、妹より私の方がしんちょうも高いからだいじょうぶなのに。)とっていました。でも、妹に言われたので、しんちょうにおりなきやいけないなという気持ちになり、ゆっくりジャングルジムをおりました。もし妹にあぶないと言われていなければ、いつものようにたいじょうぶだと思って、急いでおりたかもしれません。そしたら、足をすべらせてけがをしていたかもしれません。2さいの妹のたった一言で私は気をつけることができました。このことがあってから、妹の話やお母さんからまい日言われる「ゆめ、気をつけて行ってらっしゃい。」の一言にもよく耳をかたむけるようになりました。だれかの何気ない一言が、その人のいのちをまもることにつながるかもしれないからです。たった一言だけど、あるとないとでは大ちがいなのだと思い、妹から、一言の大じさを教えてもらったなと思いました。

ほかにも、たった一言のことばには人を変える大きな力があると思いました。「きれい」や「ばか」といえばかなしくなるし、「ありがとう」や「ごめんなさい」と言えば、相手の気持ちはぼかぼかになるはず。だれかに「がんばれ」と言われればゆう気が出るし、「だいじょうぶ」と言われれば力がわいてきます。たった一言のことばはそれだけ気持ちを変えてしまう、ふしぎな力を持っているように私は思えます。

夏休みがおわれば学校がはじまるし、お家では妹とけんかをすることもあるかもしれません。お父さんかお母さんの手伝いをすることもあると思います。そんな時、人を変える一言のことばのふしぎな力のことをいつもあたまの中に入れておきたいと思いました。だれかがきずついたり、かなしんだりしないように。けがをしたり、じこにあったりしないでいのちがまもられるように。きけんになるその前に一言のことばをかけ、みんなが安心して安全にすごせるように。